

チャイコフスキー国際コンクール優勝記念 凱旋コンサート

# 神尾真由子



コンクール本選の感動をサントリーホールで再び

*Mayuko Kamio*



シベリウス  
ヴァイオリン協奏曲 二短調 作品47  
チャイコフスキー  
ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品35

神尾真由子 (ヴァイオリン) 原田幸一郎 (指揮) 日本フィルハーモニー交響楽団

©産経新聞社

2007年10月21日(日) 14:30開演 (14:00開場) サントリーホール

全席指定 S¥10,000 A¥8,500 B¥7,000 C¥5,500

■お申込み・お問合せ アспен 03-5467-0081 <http://www.aspen.jp>

■チケット取扱い アспен 03-5467-0081 サントリーホールチケットセンター 03-3584-9999 チケットぴあ 0570-02-9990 (Pコード予約 0570-02-9966 Pコード 267-990)  
e+(イープラス) <http://eplus.jp> ローソンチケット 0570-000-407 (自動音声 0570-084-003 Lコード 34399) 全国ローソン店頭で購入可

■主催 Aspen ■共催 サントリーホール

○公演の内容やプログラムが一部変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。 ○未就学児同伴のご入場はご遠慮ください。





# チャイコフスキー国際コンクール優勝記念 神尾真由子の凱旋コンサート

6月にモスクワで開かれた第13回チャイコフスキー国際コンクール。抜群の才能をしめし、審査員からも聴衆からも圧倒的な支持を受けて優勝した神尾真由子がサントリーホールで凱旋公演を行います。演奏するのは本選で弾いたシベリウス、そしてチャイコフスキーの協奏曲。

優勝直後に「コンクール期間中は落ち込んでおり、一度はやめようかとまで思いました」と心のうちを語った彼女。世界最高の権威を持つチャイコフスキー国際コンクールという舞台上で体験したのは恐るべき極限状態だったのでしょうか。それを見事に乗り越え最高の結果を残した神尾真由子がコンクールから得たものは何だったのでしょうか。そして今後どのように成長をして行くのでしょうか。

「この結果を頂けて本当に嬉しい」とも彼女は語りました。あらたな出発点に立った神尾真由子の記念すべきこの演奏会は、皆様の心に深く、そして長く残ることでしょう。



## 神尾真由子 ■ヴァイオリン Mayuko Kamio

メニューイン国際ヴァイオリンコンクール・ジュニア部門にて11歳で最年少入賞を果たしたのち、シャルル・デュトワとの共演で本格的国内デビュー。以来、さまざまなオーケストラと国内外で共演しており、そこにはイスラエル・フィル、チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団、BBCフィルハーモニック管弦楽団、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団等が含まれる。日本、アメリカ、ヨーロッパでリサイタルも活発に行う彼女だが、2005年1月に世界的権威のあるニューヨークのリンカーン・センターより招待を受け開いたリサイタルは非常に高い評価を得た。

これまでに「平成10年咲くやこの花賞」、2001年度「アリオン賞ヴァイオリン部門」、2003年「第13回出光音楽賞」をそれぞれ受賞。また2004年6月、国際ヴァイオリン・コンクールのファイナリスト達が競い合う「モンテ・カルロ・ヴァイオリン・マスターズ」にて優勝、同年9月のオイストラフ国際ヴァイオリン・コンクールにおいても満場一致の優勝を飾る。そして2007年6月、第13回チャイコフスキー国際コンクールで優勝。

2007/08年シーズンには、バイエルン州立歌劇場や東京交響楽団、NHK交響楽団などとの共演、また、NYカーネギーホールにおけるリサイタルを予定しており、世界を舞台にしたさらなる活躍が期待されている。

これまでに里屋智佳子、小栗まち絵、工藤千博、原田幸一郎、ドロシー・デレイ、川崎雅夫の各氏に師事。現在、チューリヒにてザ・ハール・ブロンのもと研鑽を積んでいる。



## 原田幸一郎 ■指揮 Koichiro Harada

桐朋学園で学び、ジュリアード音楽院にてポール・マカノヴィッキー、ドロシー・デレイ、イヴァン・ガラミアンの各氏に師事。1969年に東京クワルテットを結成。サウス・バンク、タングルウッド、モーストリー・モーツァルト、スボレット音楽祭、クフモ、ロサンゼルスやバンフ等の世界各地の音楽祭に出演。ドイツ・グラモフォン、CBS、RCA等でレコードをリリースしており、グラミー賞に数回ノミネートされる。ステレオ誌で、ベストレコード・オブ・ザ・イヤーを受賞。1988年には指揮者として新日本フィル演奏会でデビューし、指揮者としても活躍している。また、ロン＝ティボー、ミュンヘン、オイストラフ、ハノーヴァー、ロンドン、ソウル等、数多くの国際コンクールの審査員を務めており、日本の音楽界、特に室内楽と教育の分野での今後の貢献に大きな期待が寄せられている。現在、桐朋学園大学教授。いしかわミュージックアカデミー音楽監督。



## 日本フィルハーモニー交響楽団 Japan Philharmonic Orchestra

1956年創立。日本フィルハーモニー協会が発足した1973年以降は、聴衆や市民の支援のもと、第一級のオーケストラとして定期演奏会や地方・海外公演等、年間約160回の演奏活動を展開。また聴衆育成の分野では子どもや地域のための各種アウトリーチ・プログラムを実施、さらに市民の文化創造では、杉並区との友好提携に基づく活動などで貢献している。5度にわたるヨーロッパ公演、2度のアメリカ・カナダ公演、1999年秋のオランダ公演を行うなど、国際的にも活躍し、高い演奏水準と多彩な活動により聴衆の絶大な支持を得ている。

2006年には創立50周年を迎え、6月からはリニューアル・オープンした杉並公会堂を新たな拠点として、今後の活動が各方面から大きく注目されている。